

トールマイクアーム BMA-111MK

取扱説明書

※小さなお子様がご使用になる場合は※
保護者の方が当取扱説明書をよくお読みになり、使用中はお子様に付き添ってください。

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品をご使用の際は必ず本書をお読みいただき、ご理解の上、正しくご使用ください。また、お読みいただいた後も、この説明書は大切に保管してください。

本製品はマイク用アームとして使用されることを目的としています。
それ以外の目的で使用しないでください。

FOR USE IN JAPAN ONLY

使用者は、必ずこの取扱説明書の内容を理解してからご使用下さい。
Read this instruction manual and make sure you thoroughly understand its contents before using this product.

品質表示

型番	BMA-111MK
構造部材	本体：金属（スチール、アルミニウム合金）、ABS、EVA、ポリアセタール マグネットレンチホルダー：PVC、ネオジム磁石
表面加工	エポキシ樹脂塗装
電源/消費電力	USB電源 5V/0.5A、2.5W
ケーブル長	約170cm
原産国	中国
耐荷重	2kg



注意

傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。



組み立てのご注意

- 組み立てる前に各部品に不足や不具合がないかご確認ください。
不足や不備があった場合は、直ちに組み立てを中止してください。
- けがや汚れを防止するため、必ず手袋を着用して組み立ておよび設置を行ってください。
- 組み立て時は、床や壁、他の家具の傷を防止するために敷物を敷いてください。
- ネジ・ボルトの取り付け前に、ネジ・ボルト穴の異物をきれいに除去してください。
- ネジ・ボルトは最初からきつく締めないでください。まず全てのネジ・ボルトを仮締めし、きちんと組み合わせたことを確認してから、最後にしっかりとネジ・ボルトを固定してください。
- 組み立て手順に従い、必要なパーツをすべて正確に取り付けてください。
- 製品の使用前に、各部品がしっかりと固定されていることをご確認ください。
- 組み立て手順内に記載された注意書きに従って組み立ててください。製品が破損するおそれがあります。

⚠ 使用上のご注意

- 本製品のいずれかの部品にひび・破損などの異常が生じた場合は直ちに使用を中止してください。けがをするおそれがあります。
- 本製品は水平で安定する面に取り付けてご使用ください。破損やけがをするおそれがあります。
- 本製品の耐荷重は、2kgです。耐荷重以上の荷重は加えないでください。破損・落下の原因となり、けがをするおそれがあります。
- 本製品にぶら下がったり、もたれたりしないでください。破損やけがをするおそれがあります。
- 事前にアームの可動範囲をお確かめのうえ、本製品の設置場所をご検討ください。壁や人にぶつかると、破損やけが、マイクの故障につながるおそれがあります。
- 本製品に取り付けたマイクを上下に動かす際は、必ず両手で操作してください。片手で無理に動かそうとすると、アームの関節部や固定部、またはマイクが破損するおそれがあります。
- 本製品は多くの関節部により構成されています。ご使用の際は、関節部に指などを挟まないよう十分ご注意ください。小さなお子様が使用する場合や、近くにいる場合は特にご注意ください。
- 本製品の使用にあたり生じた、周辺機器および物品の破損・故障等の問題については、弊社にて補償いたしかねます。本製品を正しく使用している際に生じた場合でも同様ですので、予めご了承ください。
- 本製品にはクッションとしてEVAが使用されています。デスク天板の表面処理によっては移染するおそれがあります。
- デスクに取り付ける際は、デスクと隙間がないようしっかりと取り付けてください。
- 使用する前に全てのパーツとデスク天板と本製品の固定に問題がないことを確認してください。

■ メンテナンス・廃棄方法

- 各パーツに破損や異常がないか、定期的に製品全体を点検してください。破損や異常が認められた場合は、直ちに使用を中止してください。
- ボルト・ネジや各パーツに緩みがないか、定期的に製品全体を点検してください。緩みがある場合は、しっかりと固定し直してください。
- 本製品が濡れたり湿ったりした場合は、直ちに乾いた布で水分を十分に拭き取り、風通しの良い日陰でよく乾かしてください。濡れたまま放置しておくと、サビや臭気の原因となります。
- 本製品を廃棄の際は、各地方自治体の廃棄区分に従って廃棄してください。

【製品のお手入れ方法】

- 本製品を清掃する際はアルコール・ベンジン・磨き粉などは使用しないでください。変色や変形の原因となります。
- 本製品を清掃する際は、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 本製品を水拭きする場合は、固く絞った柔らかい布で拭き上げ、直射日光が当たらない風通しの良い場所で十分に乾燥させてください。湿気が残っていると、劣化やサビの原因となります。

■ 組立前にお読みください



注意

確実な組み立てのため、ネジ・ボルトを取り付ける際はまず手で回して取り付けてください。ネジ穴に正しいネジ・ボルトが真っ直ぐ入ったことを確認し、全ての部品を組み合わせてから最後にドライバー・レンチでしっかりと増し締めしてください。

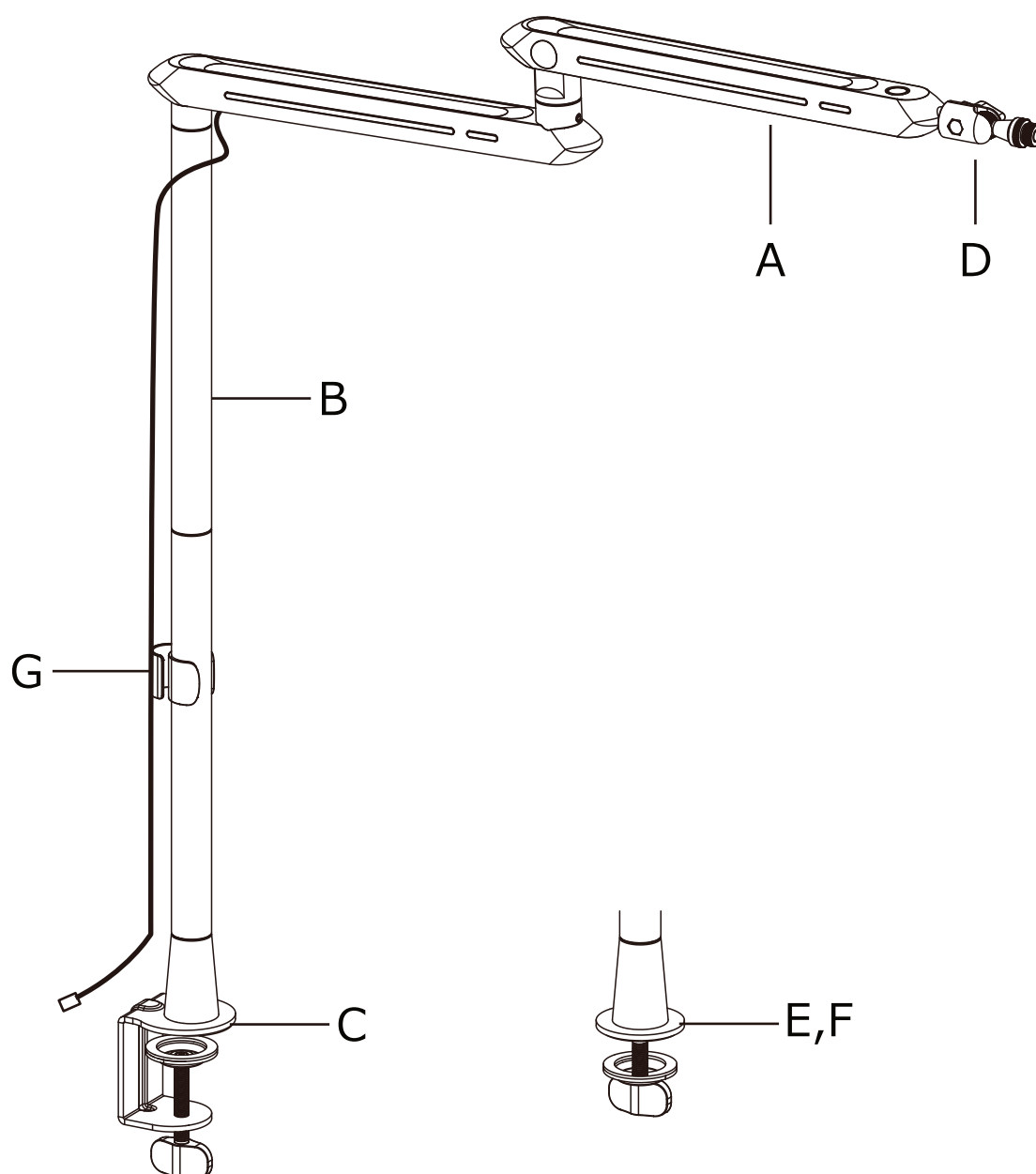
最初にきつくネジ・ボルトを締めてしまうと、後から組み立てる部品においてネジ・ボルトとネジ穴位置が合わなくなることがあります。

無理な力で斜めにねじ込むとネジ穴がつぶれネジ・ボルトが入らなくなります。

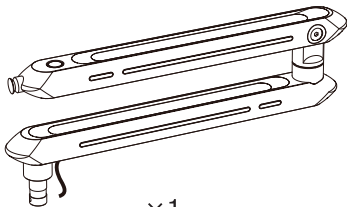
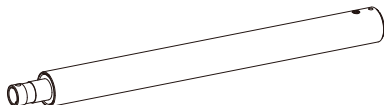
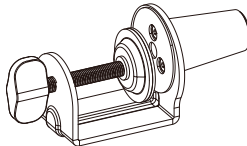
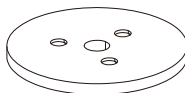
また、誤ったネジ・ボルトを使用すると製品が破損する場合があります。

※誤った組立方法にて製品が破損した場合は、製品保証の対象外となりますのでご注意ください。

■ 全体図



■ 部品・付属品

A	アーム (USB付き)	B	ポール	C	クランプベース
 ×1		 ×2		 ×1	
D	マイクベース	E	グロメットベース	F	グロメットベース用クッション
 ×1		 ×1		 ×1	
G	ケーブルクリップ	H	マグネットレンチホルダー	I	六角レンチ 3mm
 ×1		 ×1		 ×1	
J	六角レンチ 4mm				
 ×1					

※組立方法によっては別途プラスドライバーが必要です。

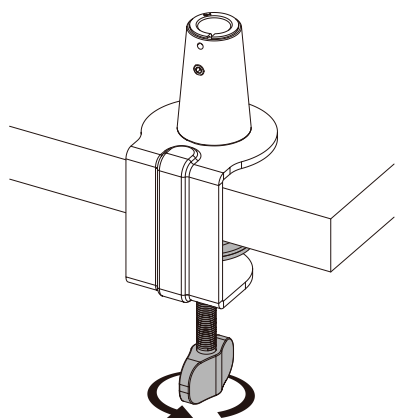
■ 組み立てる前に

本製品は2種類の方法でデスクに固定することができます。

■ クランプ方式 → [4ページへ](#)

クランプでデスクを挟み込んで固定する方法です。

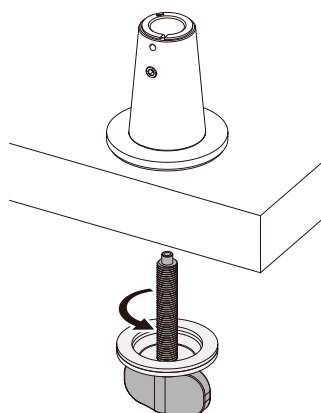
対応天板厚 1～5.5cm
取付に必要な天板奥行き 6cm



■ グロメット方式 → [5ページへ](#)

デスクに穴を開け、スクリーを通して固定する方法です。

対応天板厚 1～4cm
取付に必要な穴の直径 1～4cm

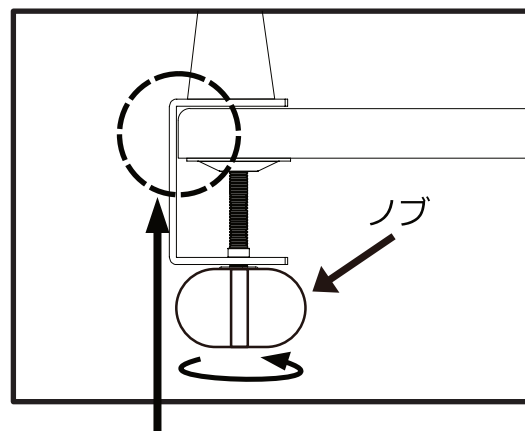
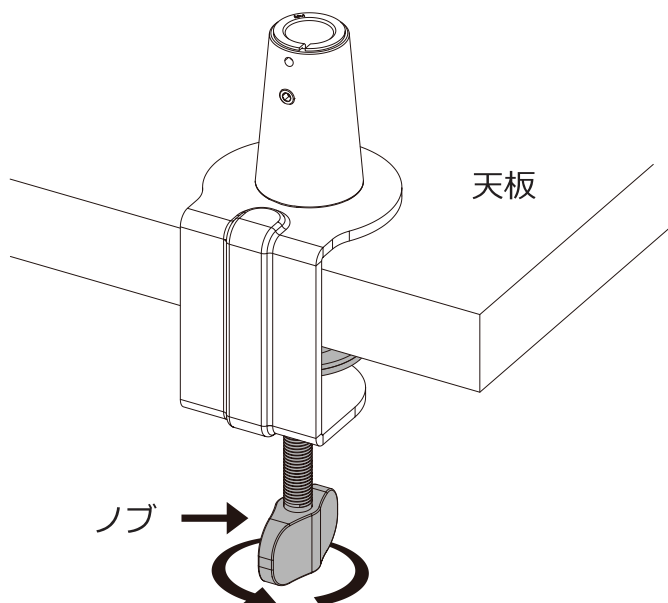


5
ページへ

■ 組み立て手順

I. クランプ方式で固定する場合

- 1 (C)クランプベースを天板に挟み、下部のノブを反時計周りに回してしっかりと固定してください。

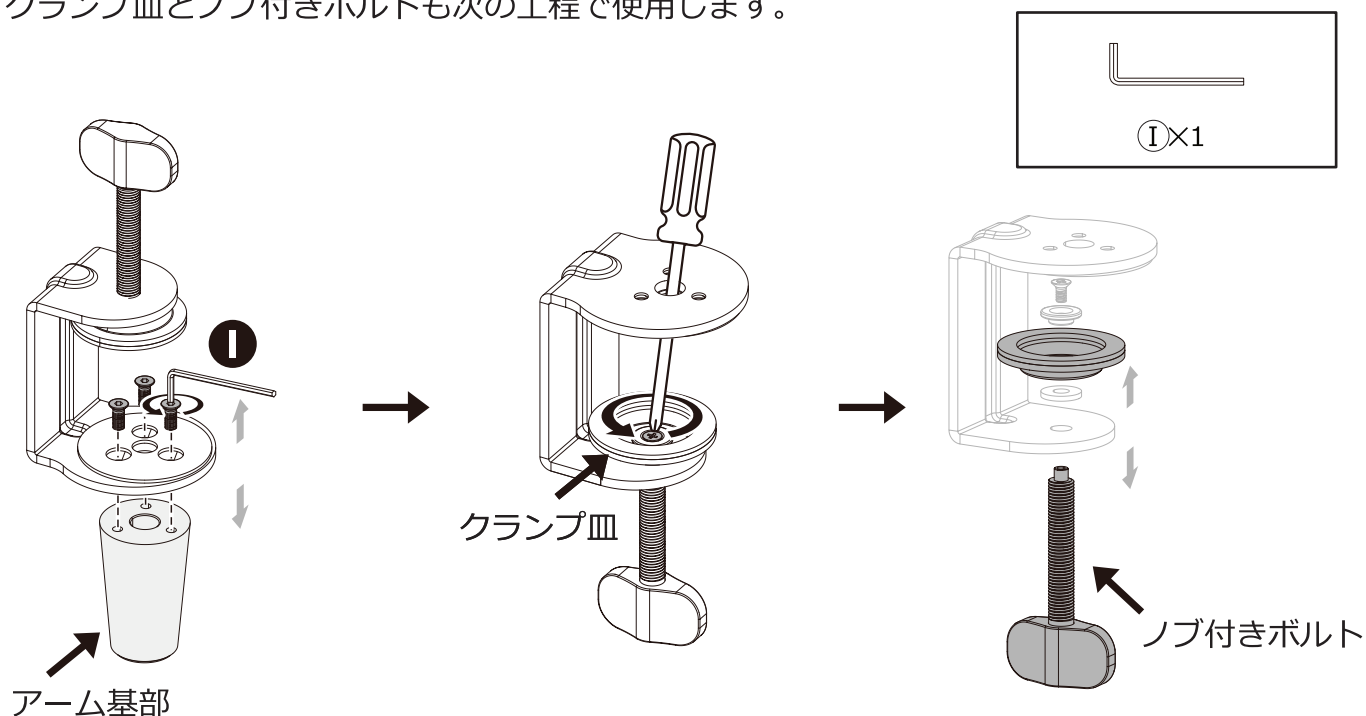


⚠ デスクとクランプは隙間なく
取り付けてください。

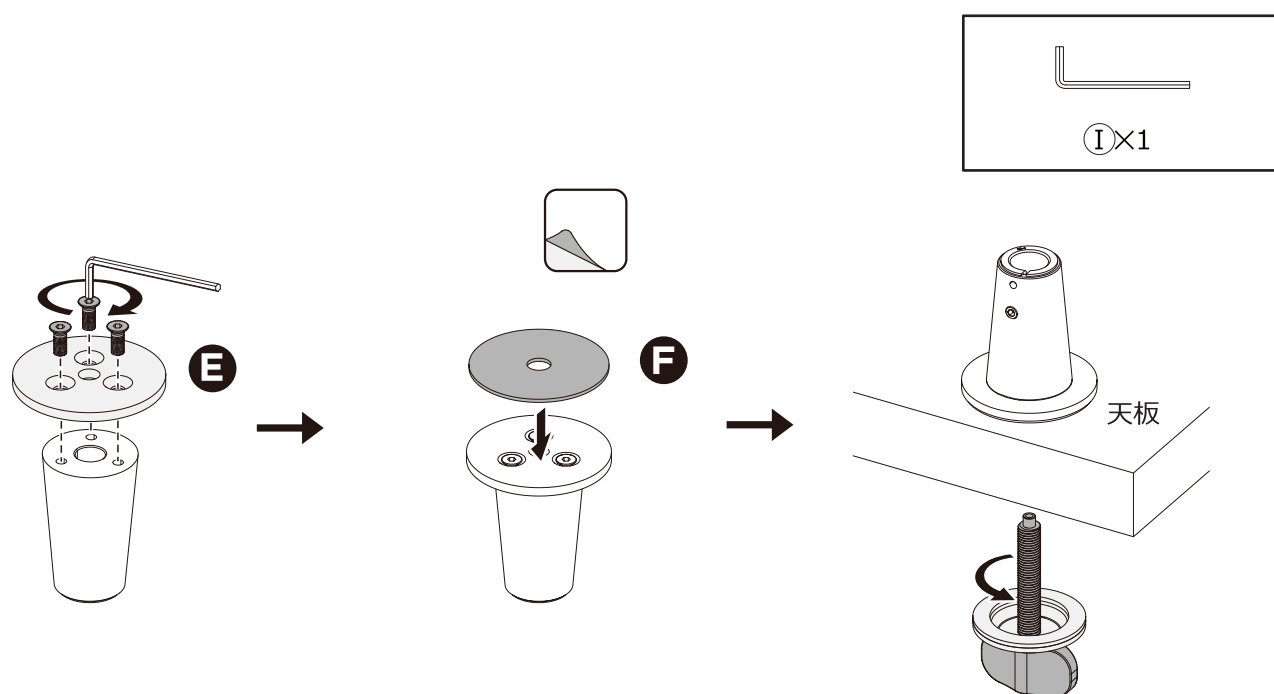
手順 [4](#) へ→

Ⅱ. グロメット方式で固定する場合

- 2 基部を組み立てます。(C)クランプベースから(I)六角レンチを使用して、アーム基部を取り外します。この時に取り外したネジは次の工程で使用します。
次にアーム基部が付いていた側の穴からクランプ皿をプラスドライバーで取り外します。クランプ皿を取り除いたあとは、ノブ付きボルトをクランプから取り外します。
クランプ皿とノブ付きボルトも次の工程で使用します。



- 3 (E)グロメットベースにアーム基部を取り付けます。次に(F)グロメットベース用クッションをグロメットベースに貼り付けてください。次にノブ付きボルトにクランプ皿を通して、アーム基部へノブ付きボルトをしっかりとねじ込み、天板に固定します。



● ここから共通手順です。

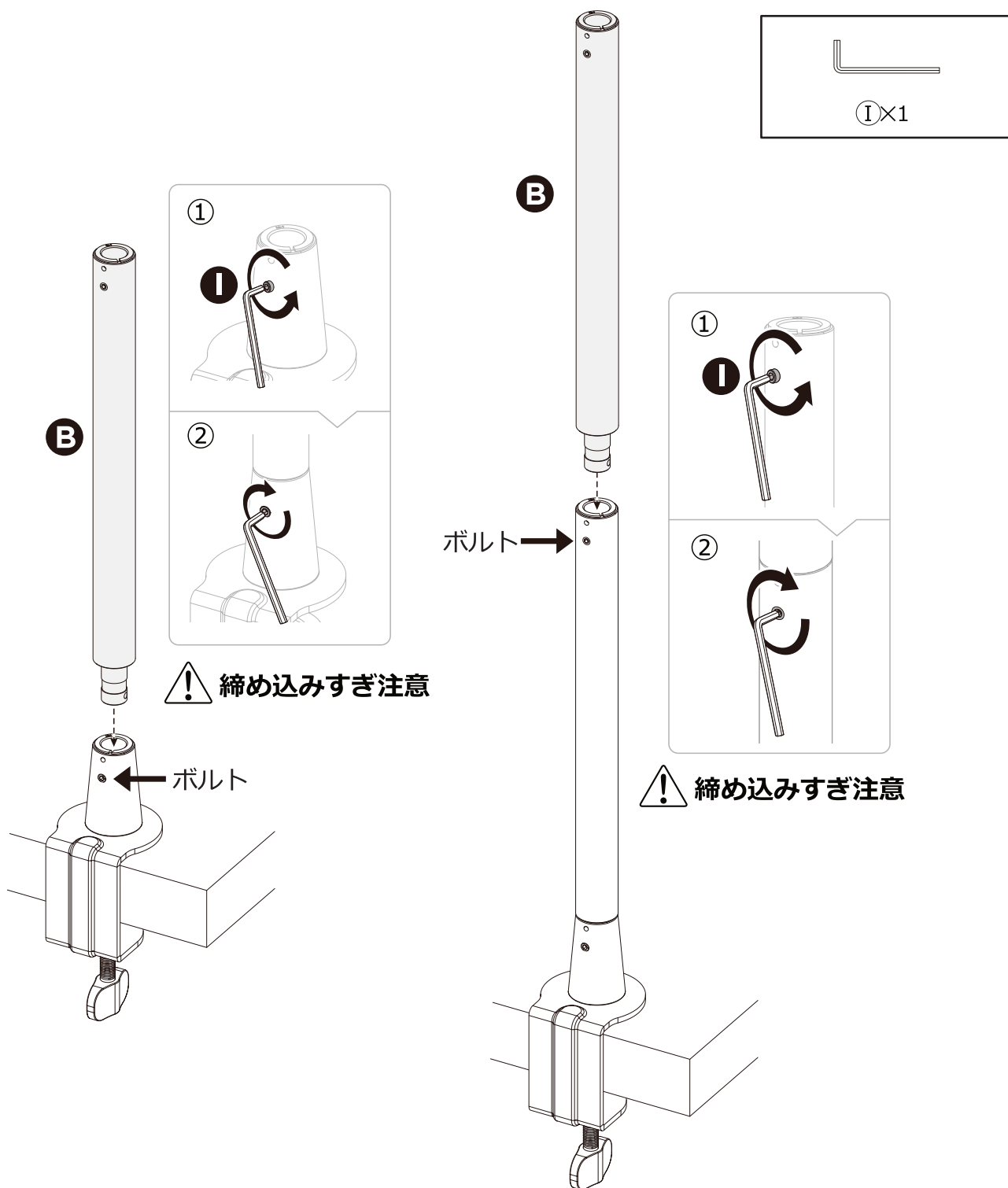
- 4** 本製品は部品の組み方を変更することで、高さを大きく3段階に変更することが可能です。
お好みに応じて組み立ててください。
※ベースに直接(A)アームを取り付ける場合は工程**5**に進んでください。

(I)六角レンチで(C)クランプベースのボルトを緩め、(B)ポールを差し込んでください。しっかりと奥まで差し込んでから、(C)クランプベースのボルトを締めてください。

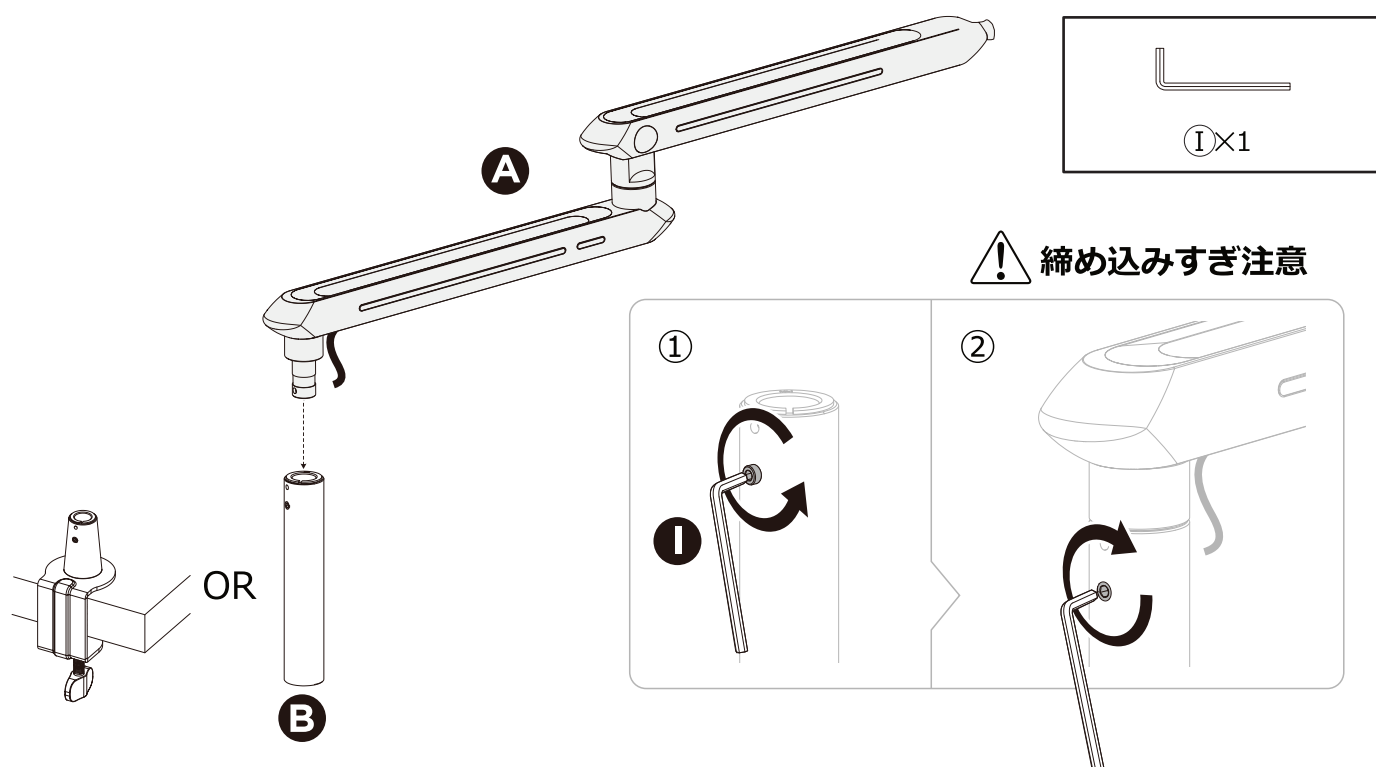
この時、ボルトは強い力でねじ込まないでください。製品が破損するおそれがあります。

本製品のボルトはポールの動きを固定するためのものではなく、引き抜け防止を目的としています。ボルトが締め込みにくくなり、ポールを引っ張っても抜け落ちない程度が適切な締め込み具合の目安です。

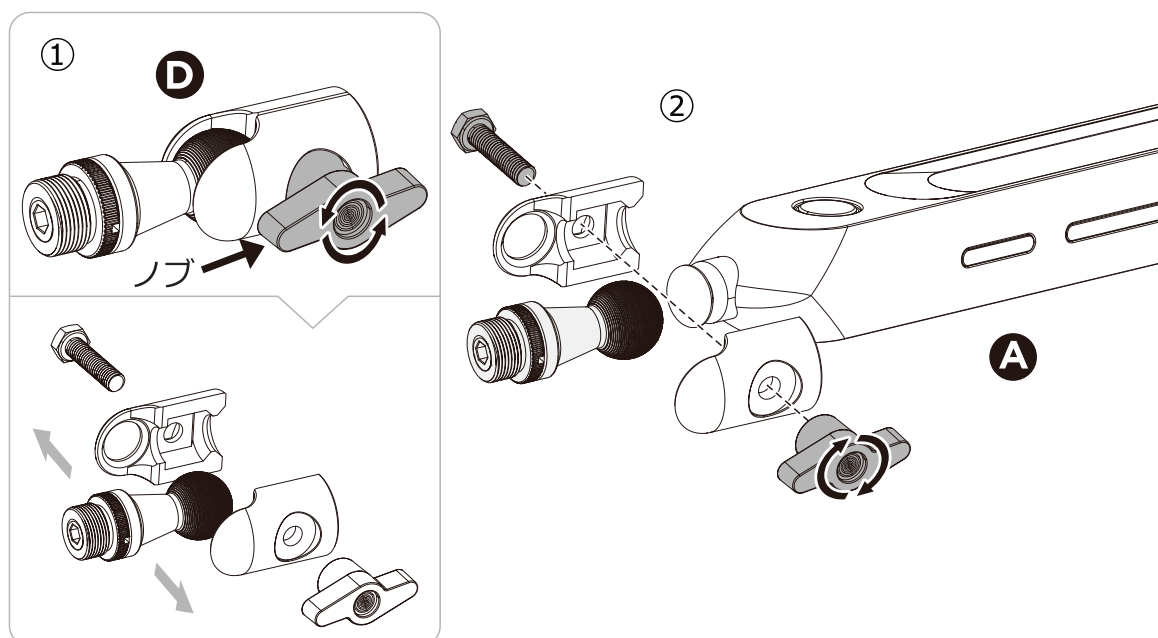
(B)ポールを連結する場合は、(I)六角レンチで差し込まれる側の(B)ポールのボルトを緩め、しっかりと奥まで差し込んでから、差し込まれた側の(B)ポールのボルトを締めてください。



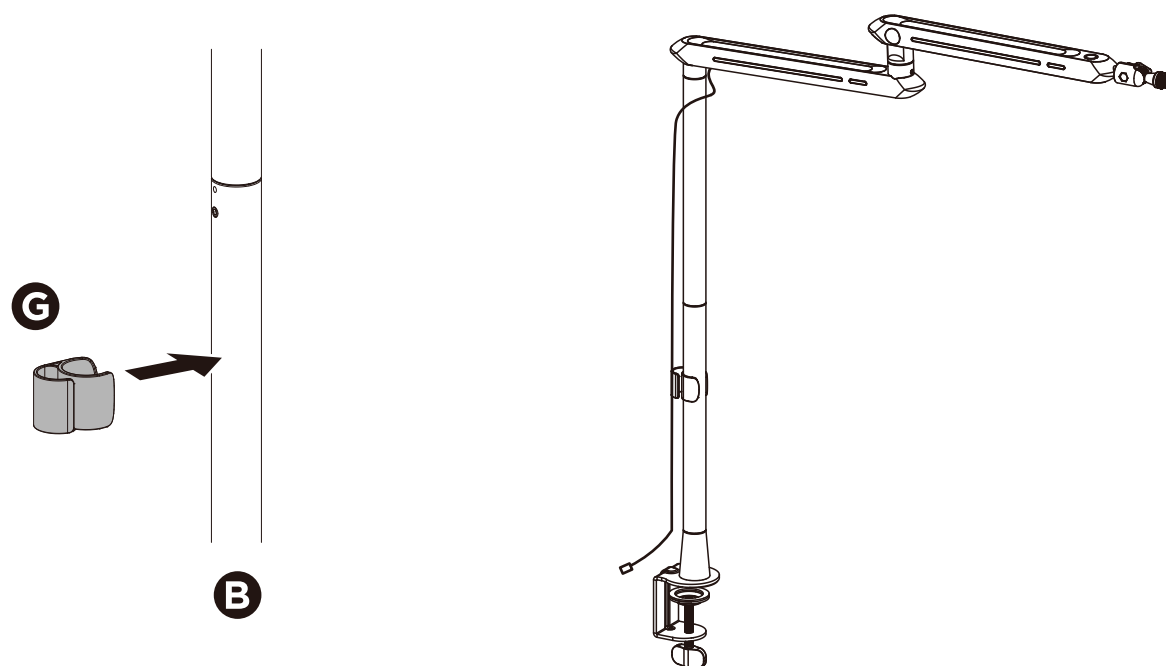
- 5 ベースまたは(B)ポールに(A)アームを取り付けます。(I)六角レンチでベース、または(B)ポールのボルトを緩め、しっかりと奥まで差し込んでからボルトを締めてください。



- 6 (D)マイクベースのノブを反時計周りに回し、分解します。次に(A)アームの先端に、下図のように(D)マイクベースを取り付けます。

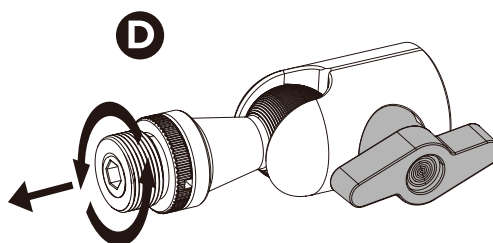


- 7 (G)ケーブルクリップを(B)ポールに取り付ければ完成です。



■ マイクの取り付けネジについて

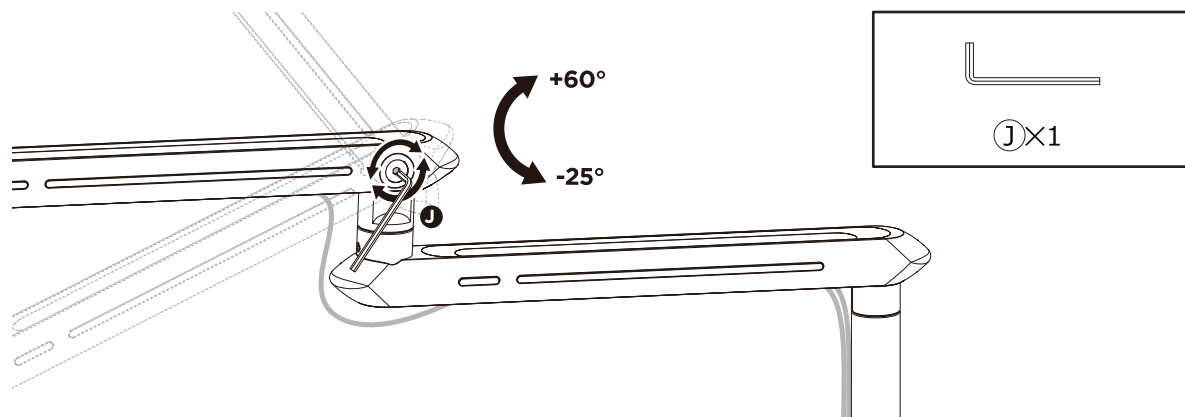
(D)マイクベースは3/8、5/8インチのネジに対応しています。先端を反時計周りに回し取り外すと3/8インチのネジに切り替えられます。



対応ネジ径：3/8、5/8インチ

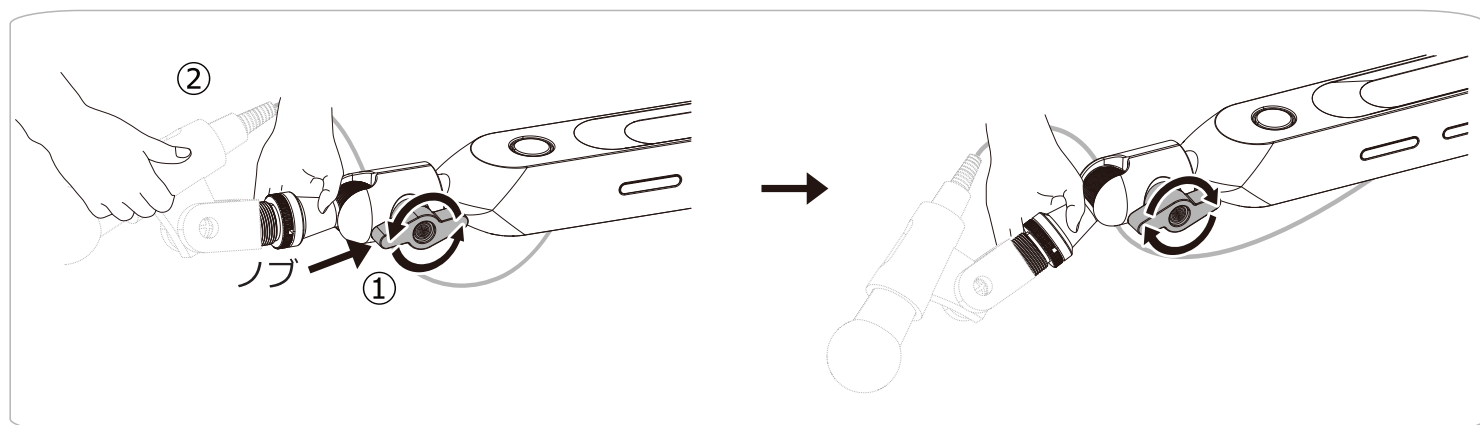
●アームの固定力・角度調整

マイクの重量によってアームが下がってしまう場合や、アームの角度を固定したい場合は(J)六角レンチで(A)アーム側面のボルトを締めて調整してください。



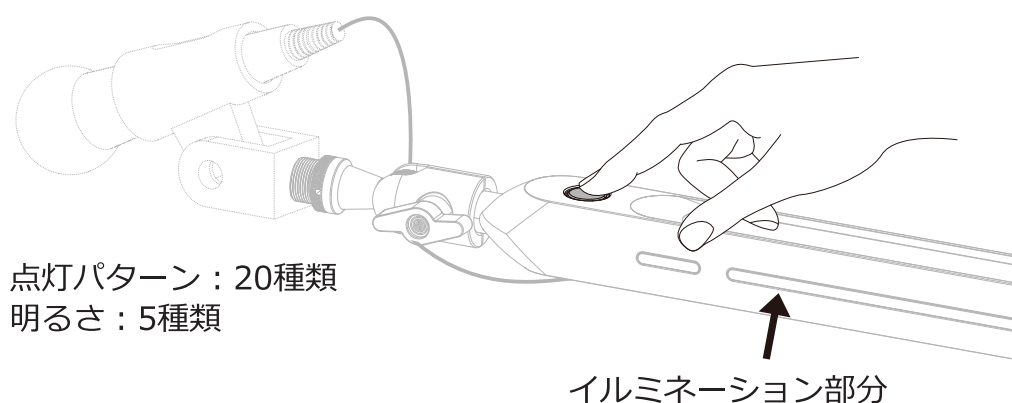
●マイクの角度調整

マイクの角度を調整する場合は(D)マイクベースのノブを緩め、角度を調整した後にノブを締めて固定してください。



●イルミネーション機能

(A)アームのUSBケーブルをUSB電源(5V/0.5A以上)に接続し、アーム上部先端にある丸いボタンを約2秒長押しすると、アーム側面のイルミネーションが点灯します。ボタンを1度押すとパターンが切り替わり、素早く2度押すとイルミネーションの明るさを変更できます。点灯状態でボタンを約2秒長押しすると消灯します。

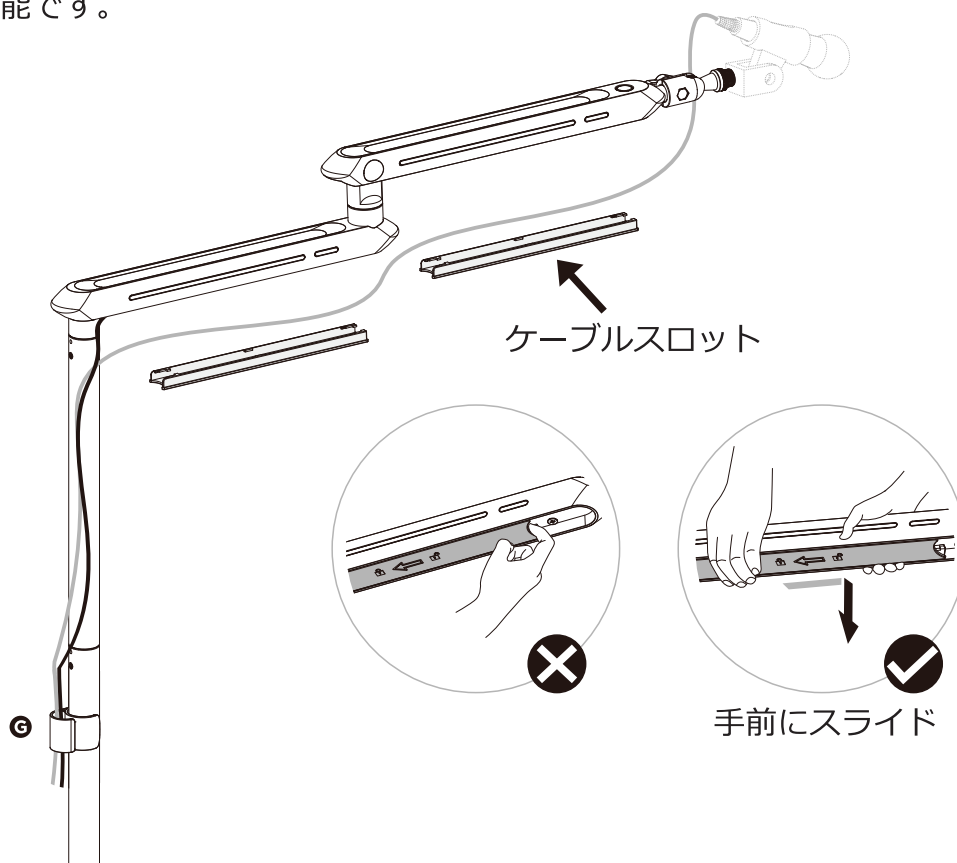


●ケーブル収納

アームの下部にはケーブルスロットがあります。ケーブルスロットを指先に力を入れた状態でアームの先端方向へスライドすると取り外しができます。スライドせずに無理に外そうとすると破損しますので、注意してください。

ケーブルをスロット内側にまとめた後、逆の手順でケーブルスロットを固定してください。

収納したケーブルはお好みの位置に取り付けた(G)ケーブルクリップを使用することですっきりと整理することが可能です。



●マグネットレンチホルダー

組み立てに使用した六角レンチは、(H)マグネットレンチホルダーに差し込んで製品本体のクランプ部やポール等の金属部品に固定することができます。

